

ゆとりある教育を求め 全国の教育条件を 調べる会 ニュース

2014.1.8発行

NO.34

冬研お知らせと見解案

奈良教育大で講義

- 井深雄二教授ゼミで橋口・山崎が講師に

12月7日(土)奈良教育大の講義「学校経営学演習」(井深雄二教授ゼミナール)において、本会の橋口幽美と山崎洋介が、それぞれ「情報公開文書から何がわかるか～読み取り演習～」 「非正規・再任用教員はなぜ増やされているのか?」と題して講義をおこないました。

この講義を受講している7名の学生は、本会の『本当の30人学級は実現したのか?～広がる格差と増え続ける臨時教職員～』を事前の講義の中で、章ごとに分担して報告しあい、学習して下さっていました。講義後、「データの分析はむずかしそうだと思っていたが、そこからいろいろなことがわかってよかった」「教育条件の充実はとても大事だと思う」などの感想がだされました。

連絡や、ご質問はこちらへ

メール shiraberukai@ae.auone-net.jp
<yutoriarukyoku@te.lolipop.jp >

調べる会・冬研 inさいたま開催せまる!!

2014年 1月25日(土)～26日(日)

春の大阪、夏の名古屋に続き、さいたま市で冬の研究会を実施します。会場は、ウィズユー・さいたま(さいたま市中央区新都心2-2)で、現在参加受付中です。研究報告者も募集中です。みなさん、ぜひご参加ください。

H26年度予算案に関する見解(案)

12月10日(土)平成26年度予算案が発表されました。その内容に関する見解案(別紙)をつくりました。会員のみなさんからの意見を頂戴して、見解は1月中旬ごろには会として発表したいと思います。

- ・教職員定数初の純減(-10人)となりました。
- ・全国一斉学力テストの検証結果から、少人数学級制は学力向上のための教育効果が認められないとして、文科省は新・教職員定数改善計画を破棄、財務省は概算要求の「少人数教育」分を全面カットしました。

これは、政府と文科省による少人数学級制の完全否定で、必ず地方裁量「少人数学級制」に影響を与えることでしょう。これから、逆流が始まるのではないかと危惧します。研究と反論が求められます。

H24年度決算関係文書
CD 出来ました。

今年度の会費を納入して
いただいた方に発送いたします。(なお、納入済みの方
にはすでに発送しました。ご
確認ください。)

これからの予定

研究会

五月(連休あたり)
調べる会春の研究会
ところ 大阪たかつガーデン
(大阪市)

五月二四日(土)二五日(日)
日本教育法学会第四回定
期総会
ところ 北海道大学
* 自由研究発表申込は二月
の予定

今年度は会として本の出版
を準備したいと考えていま
す。みなさんからの意見を
お待ちしております。